

令和元年度

# 青少年健全育成 地区委員会等

ちょっとした工夫



ちょっとしたアイデア

ちょっとした勇気



あなたの参加が  
まちを変える



# 推進モデル 事例集

## はじめに

次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長するためには、家庭や学校だけでなく、地域社会の役割も重要です。地域の方々とのふれあいや体験の中で、青少年は多様な価値観に触れ、社会性を身につけていきます。

都内には717の青少年健全育成地区委員会があり（平成31年4月1日現在）、地域の特徴を活かした活動を行っています。本事例集では、地区委員会等が主体となって地域ぐるみで青少年を健全に育成する取組を「青少年健全育成地区委員会等推進モデル」として紹介しています。参考にさせていただくことで、青少年の健全育成に関する活動を広めることができれば幸いです。

令和元年度の推進モデルは、地域ぐるみで青少年を健全に育成することを目的とした、以下の（1）から（3）までを満たしている活動です。

- （1）地域社会（地区委員会、NPO 団体、町会、商店会等）、学校、関係機関等と連携を図って取り組んでいること
- （2）活動地域が公立中学校の学校区域程度の範囲であること
- （3）青少年の正義感や倫理観を育むと共に、他者を思いやり、多文化への理解を深めるなど多様性の意識を育むために実施する取組で、以下のアまたはイに該当するものであること
  - ア 地域の中で青少年を育てる取組
  - イ 青少年の体験を豊かにする取組



## 目次

事例1	新宿区早稲田地区青少年育成委員会 牛込第二中学校との連携事業	1
事例2	大田区青少年対策新井宿地区委員会 農業体験学習（田植え・稲刈り）	7
事例3	大田区青少年対策蒲田東地区委員会 防災キャンプ	13
事例4	江戸川区青少年育成松江北地区委員会 学校プレイパーク	19
年度別	青少年健全育成地区委員会等推進モデル事例一覧	25

# 牛込第二中学校との連携事業

## 1 新宿区早稲田地区青少年育成委員会について

新宿区早稲田地区青少年育成委員会は、地域社会において青少年の健全育成を図ることを目的に青少年を対象に様々な事業を行っている自主的団体です。新宿区では特別出張所を単位として青少年育成委員会が作られており、地域の町会、自治会、青少年団体、女性団体、PTA、商店会、保護司、民生・児童委員、スポーツ推進委員、青少年活動推進委員、スクールコーディネーターなどで構成されています。当地区委員会では昨年度より早稲田大学の学生ボランティアも加わり、若い世代が活動に弾みをつけています。

現在行っている活動は、情操教育を目的に「牛だぁ牛だぁ牧場へ行こう!」、「夏休み手作り教室」、「人形劇」、「日本の伝統文化を楽しむ会」があります。また、協調性・達成感を体験することを目的として「区内小学校対抗ドッジボール大会」、「みんな集まれ釣り大会」を行っています。さらに、地域との交流を図るものとして「牛込二中えんにち&カレーを楽しむ会」、「昔あそび・もちもちの会」、「のんびり歩こう会」、地域の環境と安全に関して「子ども防災キャンプ」、「榎クリーンデー（地域清掃）」、地域の盆踊り・祭礼等のパトロールを実施しています。

## 2 牛込第二中学校との連携事業について

### (1) 目的

中学生自らが、企画から準備・実施・後片付けまでを責任を持って行うことにより、責任感と実行力を養い、地域との交流を通して「思いやり」、「おもてなし」の心を育てることを目的としています。また、中学生が頼れる地域の一員であることを地域の方々に再認識していただくことも目的として実施しています。



## (2) 活動の歩み

早稲田地区青少年育成委員会の活動エリアには、新宿区立牛込第二中学校があります。平成18年、中学生の社会参加が減少するなか、中学校の生徒会とともに、地域との交流について検討しました。中学生が参加しやすいよう実施場所を中学生のホームグラウンドである牛込第二中学校と決定し、その年の夏休みに「オバケえんにち」を開催しました。平成23年より、名称を「牛込二中えんにち」に変更し、平成30年には、それまで30年以上牛込第二中学校を会場として開催していた「カレーライスを楽しむ会」と合同で実施することとなりました。

また、「昔あそび・もちもちの会」は、「オバケえんにち」に参加した牛込第二中学校のPTAから、卒業生を祝う会として餅つきをしてほしいとの要望を受け、それまで地域交流館で実施していた「昔あそび・おしるこの会」の会場を牛込第二中学校に移し、名称を「昔あそび・もちもちの会」としてスタート、現在まで継続して開催しています。



## (3) 活動内容

### ア 概要

毎年、牛込第二中学校を会場として、夏休みに「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」、3月に「昔あそび・もちもちの会」を開催しています。中学生たちによる実行委員会を立ち上げ、企画・運営を育成委員とともに行っています。「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」では、中学生はカレー作り、模擬店、ゲームコーナーを担当し、スタンプラリー形式で地域の来場者が各コーナーを回ります。「昔あそび・もちもちの会」では、中学生が餅つきの準備からでき上がった餅を来場者に提供するまでの作業のほか、こま回し、羽子板などの昔あそびのコーナーを担当します。

## イ 事前準備

「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」(7月実施)

\* 3月に実施する「昔あそび・もちもちの会」も同様の流れ

6月初旬	実行委員会立ち上げ 企画、内容について協議 参加者：育成委員会 学校（担当教諭） 協力団体	
6月下旬	中学生によるポスター (告知用チラシ) 作成	
7月初旬	ポスター配布 (地区内小・中学校、幼稚園、保育園、 児童館、各町会に掲示依頼) 中学生実行委員会が中学生ボランティア募集 各コーナー担当責任者決定	
事業前日	材料・器具等準備	

## ウ 当日の流れ

\* 「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」「昔あそび・もちもちの会」共通

8:45	スタッフ学校集合
9:00	PTA・榎町子ども家庭支援センター担当者集合 開催挨拶（牛込二中校長、育成会会長）
～ 10:00	準備
10:00	受付開始（エントリーシート配布） イベント開始
13:00	受付終了（エントリーシート配布終了）
14:00	イベント終了
14:00～	片づけ・器材等搬出（ゴミの処分は新宿東清掃局に依頼）

## エ 実施内容

「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」

校舎内	カレーライス わた飴 ポップコーン ソースせんべい カフェ ボードゲーム ヨーヨー釣り 輪投げ ストラックアウト うちわ作り	<p>牛込二中えんにち・カレーを楽しむ会</p> <table border="1"> <tr> <td>カレーライス・カフェ (連絡資料室、3日教室)</td> <td>ポップコーン (3A教室)</td> <td>ソースせんべい (3A教室)</td> </tr> <tr> <td>わたあめ (3A教室)</td> <td>わなげ (2階学習室)</td> <td>ボードゲーム (図書室)</td> </tr> <tr> <td>うちわ作り (図書室)</td> <td>かき氷 (1階体育館下)</td> <td>的あて水鉄砲 (1階体育館下前)</td> </tr> <tr> <td>ヨーヨーつり (図書室前)</td> <td>英語劇による英語劇 10:30~11:00 吹奏楽部による演奏 13:15~13:45 (体育館)</td> <td>ポッチャ体験 11:15~13:00 (体育館)</td> </tr> </table>	カレーライス・カフェ (連絡資料室、3日教室)	ポップコーン (3A教室)	ソースせんべい (3A教室)	わたあめ (3A教室)	わなげ (2階学習室)	ボードゲーム (図書室)	うちわ作り (図書室)	かき氷 (1階体育館下)	的あて水鉄砲 (1階体育館下前)	ヨーヨーつり (図書室前)	英語劇による英語劇 10:30~11:00 吹奏楽部による演奏 13:15~13:45 (体育館)	ポッチャ体験 11:15~13:00 (体育館)
カレーライス・カフェ (連絡資料室、3日教室)	ポップコーン (3A教室)		ソースせんべい (3A教室)											
わたあめ (3A教室)	わなげ (2階学習室)		ボードゲーム (図書室)											
うちわ作り (図書室)	かき氷 (1階体育館下)	的あて水鉄砲 (1階体育館下前)												
ヨーヨーつり (図書室前)	英語劇による英語劇 10:30~11:00 吹奏楽部による演奏 13:15~13:45 (体育館)	ポッチャ体験 11:15~13:00 (体育館)												
校庭	かき氷 水鉄砲													
体育館	英語劇 吹奏楽部の演奏													

「昔あそび・もちもちの会」

校舎内	もち配布 昔あそび 凧作り	
校庭	餅つき 羽子板 ストラックアウト 凧揚げ	

事業の開催にあたっては地域の方々からのたくさんの協力をいただいています。榎町子ども家庭支援センターには「牛込二中えんにち」でのうちわ作りと「昔あそび・もちもちの会」での凧作りのコーナーを担当していただき、牛込警察署からは来場者への配布用に、景品と、万引き防止と携帯電話の安全利用に関する啓発冊子を御提供いただきました。また、平成31年3月9日の「昔あそび・もちもちの会」では、牛込第二中学校が地域協働学校として、チャリティバザーを催行しました。

また、安全に事業が運営できるよう、7月に開催する「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」では、熱中症予防として給水用ジャグを各所に用意してスタッフ・来場者への水分補給を心がける、どちらの事業でも調理はすべて実施当日に行う、校舎内での幼児のスリッパの使用は避けてもらうなどの配慮をしています。

## オ 成果

過去には中学生ボランティアがなかなか集まらない年もありました。東京でオリンピック・パラリンピックが開かれることが決まり、中学生のボランティア意識が高まり、平成30年より中学生が部活動ごとにそれぞれの持ち場を担当するようになったことで、「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」では100名を超えるボランティアの中学生がスタッフとして参加してくれました。来場者も「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」では400名（参加総数540名）、「昔あそび・もちもちの会」では290名（参加総数385名）に上り賑やかに開催されました。

準備段階から関わることで中学生に自主性が生まれ、事業を自分たちが主体となって行っていると感じられたと思います。また、当日には英語部と吹奏楽部の発表会も併せて開催し、中学生の活躍によってより充実した事業を実施することができました。

中学生スタッフの接客に、来場した幼児からお年寄りまで気持ちよく楽しんでもらうことができました。また、小学生や保護者の方々には地域の中学校を身近に感じてもらえる機会を提供できたと思います。



## 3 終わりに

中学生という多感な時期、勉強・部活動・塾と時間に追われる日々、会話もメールやライン、肌で感じることのできない文字に苛立ちを感じている子もいます。そんな日常から少し離れ、一呼吸できる場が「牛込二中えんにち & カレーを楽しむ会」、「昔あそび・もちもちの会」であればと願っております。

中学生の地域参加に対する意識を高めることには難しい部分がありますが、幸いなことに、私たちの地域には、牛込第二中学校という中学生にとって地域で唯一のホームグラウンドがあります。牛込第二中学校の中学生は、ホームグラウンドで力を発揮し、地域の方々との楽しい交流を通して、地域参加に対して意識を高めることができます。

回を重ねる毎に中学生の意識も向上し、地域の方々、特にお年寄りや幼児に対する気配りには目を見張るものがあります。

自分たちの考えを話し合いと協力により形にした達成感は、今後の社会生活において有意義なものであり、参加者の笑顔は喜びとなって心に刻まれたことと思います。



学校・町会・協力団体のお力添えがあり、この事業は成功しております。これからも地域の輪を大切にして、子供たちの成長を見守ってまいります。

牛込第二中学校の生徒は「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向け「おもてなし」の心を育み頑張ってきました。その成果を発揮できる日が楽しみです。



### ○推進モデル選定のポイント○

- 中学生が主体となって企画から当日の運営までを行うことで、責任感や協調性を養う貴重な経験・体験の場となっている。
- 中学生が地域の方との交流を通じて「おもてなし」や「思いやり」の心を育み、さらにボランティア意識を醸成する機会となっている。
- 幼児からお年寄りまで多くの方が楽しんで参加できる活動を通じて、互いに顔見知りになり、地域で青少年の成長を見守り、育てる環境づくりにつながっている。

**担当部署** 新宿区子ども家庭部子ども家庭課企画係

**電話番号** 03(5273)4261

# 農業体験学習(田植え・稲刈り)

## 1 大田区青少年対策新井宿地区委員会について

大田区では、区内18か所の特別出張所ごとに青少年対策地区委員会が設けられており、地域力を結集して地域の青少年の健全育成や青少年を取り巻く地域社会の環境浄化を図ることを目的として様々な活動を行っています。自治会・町会代表、学校長、PTA、民生児童委員、保護司など広い範囲の青少年育成関係者から構成されています。

大田区青少年対策新井宿地区委員会もその1つであり、新井宿地区の自治会・町会やPTAなどから選出された約70名の委員が活動しています。新井宿地区は、8つの自治会・町会で構成されており、医療・福祉・文化の環境に恵まれた、とても家族的な雰囲気のある、まとまりのある地域です。このような地域の特性を活かしながら地域の様々な方と連携・協力して、心豊かで伸び伸びと健やかな子供たちを育成していくことを目標に日々活動しています。

主な活動としては、地域の子供たちを対象に実施する「地区スポーツの集い」や青少年育成の課題について意見交換を行う「地区集会」、そして今回紹介する「農業体験学習(田植え・稲刈り)」などがあります。



地区スポーツの集い  
(ドッジボール大会)



地区集会の様子

## 2 農業体験学習（田植え・稲刈り）について

### （1）目的

農業体験学習（田植え・稲刈り）は、都会の子供たちが普段体験できない農業を体験することで農家の方への感謝の気持ちを養い、食べ物大切さなどについて考えてもらうことを目的として実施しています。また、子供たちが他校の児童や地域のお兄さん、お姉さん、大人たちとふれあうことで社会性を育む機会にもなっています。

### （2）活動の歩み

農業体験学習（田植え・稲刈り）は、平成6年から実施している新井宿地区委員会の名物事業です。自然の中で土にまみれて自らの手で苗を植え、大きく育った稲を刈り取ることで収穫の喜びを感じてもらいたいとの思いから継続して実施しています。参加者アンケートの意見を取り入れながら、子供と保護者が安心して楽しめるように創意工夫を重ねて事業を実施しています。

### （3）活動内容

#### ア 概要

農業体験学習は、新井宿地区の3つの小学校の児童及び同伴する保護者を対象とした事業です。温暖で自然豊かな千葉県南房総市で実施しており、農業体験を終えた後は、広場に移動して動物とのふれあいや川遊びで参加者の交流を深めています。

例年5月に田植え、9月に稲刈りを実施しています。児童・保護者を合わせて、毎回100名以上の参加があります。

#### イ 当日に向けての準備

各小学校及びPTAの協力をいただいて参加者を募集します。参加者を集約した後に学校ごとに乗車するバスの仕分けや参加者が付けるバッジの準備、各種名簿の作成などを2か月前から委員が集まって準備をします。

また、地域の中高生や大学生などで構成するジュニアリーダーが子供たちと一緒にレクリエーションを実施するため、ジュニアリーダーで事前に打ち合わせを行います。

## ウ 当日の様子

平成30年度は、田植えを平成30年5月13日に、稲刈りを9月9日に実施しました。

当日は2台のバスで農業体験場所がある千葉県南房総市に向かいます。

往復の車内では、ジュニアリーダーが歌やクイズなどのレクリエーションを行い、子供たちと一緒に楽しみながら賑やかに過ごします。

体験場所に到着したら、ジュニアリーダーが創作した「田植えのうた」「稲刈りのうた」を参加者全員で歌って雰囲気を盛り上げます。次に、農家の方から田植え・稲刈りについての案内や諸注意があり、田んぼに向かいます。

田植え体験では、子供たちは畦道のカエルや、これまで体験したことのない田んぼの土の感覚に驚き、歓声を上げながら皆で一列に並んで苗を植えていきます。初めのうちは田んぼのぬかるみに戸惑いながら田植えを行っている子供たちも、慣れてくると手際が良くなっていきます。



農業体験終了後、広場に移動して昼食をいただきます。広場ではヤギやウサギとふれあったり、小川で遊んだり子供たちは豊かな自然環境で仲間と思い思いに楽しめます。



稲刈り体験では子供たちも鎌を持って、春に植えた稲を刈っていきます。黄金色に染まった大きな稲穂を見て、子供たちからは感嘆の声が上がります。初めは手元がおぼつかない子供たちも慣れてくるとリズム良く稲を刈れるようになり、中には保護者よりも早く上手に稲を刈る子供もいます。また、お土産に田んぼで収穫されたお米を持ち帰ります。



## Ⅰ 農業体験学習がもたらす効果

新井宿地区委員会の農業体験学習は、新井宿地区委員会の委員以外にも地域の中高生や大学生などで構成するジュニアリーダーが運営に協力していることが大きな特徴です。農業体験学習に参加してジュニアリーダーの活躍を見た小学生が、数年後にジュニアリーダーに加入し、運営スタッフとして農業体験学習に協力するサイクルも確立しており、若い世代の運営スタッフの確保に繋がっています。

また、小学生と一緒に保護者も参加するため、親子で新井宿地区委員会の活動や食育について理解を深めていただく機会となり、他の新井宿地区委員会事業に参加していただくきっかけにもなっています。



田植えの前にレクリエーションで雰囲気を盛り上げるジュニアリーダー

### 3 終わりに

農業体験学習（田植え・稲刈り）は、子供と保護者からとても人気のある事業です。参加者アンケートでは「米を育てる大変さを知ることができた。」、「農家の方の大変さを知ることができた。」、「いつも食べている米が、何か月も手間のかかるものなのだと知った。」などの感想が寄せられており、この事業の目的を達成できているように感じます。

今後も新井宿地区委員会は、地域の子供たちが自然・スポーツ・文化など様々な分野で経験する機会を提供することで、心豊かで健全な成長を支援していきたいと考えています。

### ○推進モデル選定のポイント○

- 子供たちが、豊かな自然の中で、日頃の生活では経験できない農業体験を通じて、食べ物大切さや農家の方々の大変さを実感することができる貴重な機会となっている。
- 地域の中高生や学生がジュニアリーダーとして運営に協力し、責任感や指導力を養う機会にもなっている。
- 参加した小学生が数年後にジュニアリーダーを目指すなど、その活躍する姿がよい見本となり、地域で活躍する人材の育成につながっている。

担当部署 大田区地域力推進部新井宿特別出張所

電話番号 03 (3776) 5391

# 防災キャンプ

## 1 大田区青少年対策蒲田東地区委員会について

青少年対策地区委員会とは、特別出張所（大田区役所の主要な事務を行う区内18ヶ所に設けられた事務所）単位に設けられ、地域の青少年の健全育成を目的とする団体です。

蒲田東地区委員会は、蒲田東特別出張所管内の19自治会・町会の青少年部担当、小学校・中学校・高等学校の校長・副校長、PTA代表、大田区青少年委員、スポーツ推進委員、民生・児童委員、保護司などで構成され、青少年の自主性を高め、地域における活躍の場を広げられるよう、年間を通じて様々な事業を行っています。

毎月の理事会や定例の委員会、さらに各事業の準備に際しては実行委員会を開催し、活発に意見交換を行い、綿密な準備計画を立てるのが蒲田東地区委員会の特徴です。

具体的な実施事業は次の表のとおりです。多くの事業において地域の皆様、管内の小学校、中学校、高等学校及び各校の児童、生徒たちに御協力をいただいております。

実施時期	事業名	内容
1月	お正月遊びを楽しむ会	管内の小学校をお借りし、けん玉、羽根つき、かるた、福笑い、餅つき、獅子舞など昔ながらの遊びや伝統を体験・見学できる催し。
4月	子どもガーデンパーティー	大田区内10会場で開催。羽田・糎谷の地区委員会とともに萩中会場で合同開催し、地域、学校、協力団体によるステージ、催し、模擬店他、約90団体が参加。
7月	「社会を明るくする運動」地域集会	大田区保護司会第五分区、蒲田東地区自治会連合会と協力して運営。管内の小中学生による「身近な思いやり・助け合い」等に関する作文の発表、外部講師による講演会を実施。
9月	防災キャンプまたはバスレクリエーション	平成30年度は蒲田小学校で防災キャンプを、令和元年度は10月にバスレクリエーションとして千葉県で芋掘りを実施。
11月	蒲田東フェスティバル	都立蒲田高等学校を会場としてお借りし、管内の自治会・町会、学校や地域団体など約50団体の運営協力のもと、ステージ、展示、催し、模擬店などを開催。蒲田東地区の力を総結集するという位置づけ。

特筆すべきは、中学校、高等学校から毎回大勢の生徒が、ボランティアとして参加していることです。開催者側の蒲田東地区委員会をバックアップするかたちで、事業の前日準備や当日の美化活動からプログラム進行まで、運営の多方面にわたり毎回協力いただいております。蒲田東地区委員会において、なくてはならない若い力となっています。



地域力の集大成 蒲田東フェスティバル



中学生ボランティア

## 2 防災キャンプについて

### (1) 目的

蒲田東地区委員会の管内には、大田区立の蒲田（かまた）、南蒲（なんぼ）、東蒲（とうほ）、新宿（しんしゅく）という4つの小学校があります。

本事業は、管内にある小学校の校庭に、子供たちが協力しながらテントを張り、食事や宿泊を共にしながら防災に役立つ知識を身につけることを目的としています。また、参加した4校の子供たちの交流や、本事業の運営及び協力していただいた地域の青少年を見守る方たちと顔の見える関係を築き、地域防犯・防災の若い力となってくれることも目的としています。

### (2) 活動の歩み

約25年前から蒲田東地区委員会が主催となり、防災キャンプを実施してきました。

実際は会場となる小学校や準備の都合もあり、近年は同時期にバスをチャーターしての施設見学や体験学習を日帰りで行う「バスレクリエーション」の実施が続きました。



平成21年の防災キャンプの様子（蒲田小学校）

しかし、以前防災キャンプの運営に携わった委員から「是非とも地域防災活動拠点（避難所）となっている学校に宿泊するという貴重な体験をさせてみては」という意見が多く上がり、平成30年度初めに小学校と調整を行い、平成21年に蒲田小学校、平成23年に南蒲小学校で実施して以来、実に7年ぶりの防災キャンプの開催となりました。



平成23年の防災キャンプの様子（南蒲小学校）

### （3）活動内容

#### ア 概要

9月頃の土曜日から日曜日にかけて実施しており、今回は平成30年9月8日・9日に蒲田小学校で開催しました。対象は小学4・5・6年生で、保護者も一緒に宿泊できる場合は1・2・3年生も参加可としました。募集にあたっては、各小学校を通して夏休み前に募集プリントを配布していただき、参加希望者を募りました。人数は最大80名までとし、今回は35名の参加者が集まりました。

#### イ 準備スケジュール

会場決定以降、次の表のような流れで準備を進めていきました。蒲田東地区委員会の定期総会后、委員の入れ替わりもあるため、約2ヶ月弱の短期間で新旧委員がアイデアを出し合いながら、限られた予算と人員の中で安全かつ有意義な防災キャンプの成功を目指しました。

実施時期	主な内容	
7月上旬	参加者募集	学校を通してお知らせ配布と申込書受領
7月中旬	参加者集計	参加者名簿作成等
7月下旬	第1回実行委員会	役割分担、参加者報告、予算確認等
	テント確認作業	シート・フレーム破損確認、組立て練習等
8月上旬	第2回実行委員会	参加者班分け、プログラム、食事案等
8月下旬	全体会	プログラム、タイムスケジュール、資材用品確認等
9月上旬	保護者説明会	プログラム、食事（アレルギー確認）説明、質疑等
	定例理事会委員会	全体の最終確認等
9月8日 ～9日	防災キャンプ当日	担当業務の遂行、班付き委員によるアシスタント、安全への配慮、深夜巡回パトロール他

## ウ 運営にあたり

前回開催は7年前のため、「blankによる不安の払拭」、「新しい委員の事業内容の理解促進」、「各団体のサポート」が、短期間での事業運営のポイントとなると考え、次のような手法を取り入れました。

### 【経験を活かす】

実行委員は担当制とし、各担当の正副委員長には過去の防災キャンプでその担当を行っていた人を充てました。前回の工夫や反省点を活かし、同じ担当の委員を牽引してもらうことが目的です。また、参加者のサポートや連絡指示を担当する「班付き委員」を2班に1名配置し、同様に過去の防災キャンプに参加している委員を中心に選任しました。

### 【過去の記録によるイメージ作り】

まず、各委員に防災キャンプの進行や内容をイメージしてもらうため、第1回の実行委員会では、前回、前々回の約150枚に及ぶ記録写真をパソコンとプロジェクターでスライドショーとして映し出し、実行委員長が解説を加えながら、今回の開催に繋がる良い点や改善すべき点等を委員で考え、討議を行いました。

### 【サポート及び連携体制】

- ①災害や防災に関する講義では、蒲田消防署から職員を派遣していただきました。
- ②食事における調理補助として、蒲田小学校 PTA に協力していただきました。
- ③レクリエーションの「肝試し」における資材は、PTA 会長同士のネットワークにより他地区の小学校の PTA から借用しました。
- ④防災用教材は、大田区防災危機管理課から提供していただきました。
- ⑤今後災害時利用が見込まれるドローンの操縦及び実演は、「蒲田小学校お父さんの会」会員の所属するドローン競技同好会に協力していただきました。
- ⑥パラリンピック公式種目でもあるボッチャを行い、委員の所属する地域スポーツ振興を目的とする NPO 法人スマイルかまたに、ルール説明や審判で協力いただきました。
- ⑦深夜の学校周辺警備の強化にあたって、蒲田警察署の協力をいただきました。

## エ キャンプの様子

当日は晴天に恵まれ、最高気温も32℃を超えていました。氷、麦茶のほか、イオン飲料、経口補水液も用意し熱中症対策には特段の配慮を行いました。

また、今年度の防災キャンプは1日目の土曜日は小学校の授業実施日に重なったため、受付も午後3時となり、過去と比べプログラムは少なくなっています。

夕食は、時間短縮と防災の観点から、食事担当委員が工夫を凝らしたメニューを考え、どのような工夫（災害時に食材が限られることを想定してごみを出さない等）が凝らしてあるか、食べる前に食事担当委員の責任者から説明をしていただきました。たとえば、スナック菓子から作るポテトサラダ、すいとんの出汁を取った後のカツオ節をアルファ化米おにぎりの具に利用するなどです。その中で、特にポテトサラダは、元は子供たちが普段食べているポテトスナックだったこともあり、とても好評でした。

1日目（9月8日）	
15：00	受付
15：30	開村式（諸注意）
16：00	テント設営
17：30	夕食準備
18：30	夕食
19：15	肝試し・ドローン実演
21：30	終了
21：45	就寝準備
22：00	消灯

2日目（9月9日）	
6：00	起床・洗面
6：30	朝の集い（ラジオ体操）
7：00	朝食
8：00	テント撤収
9：00	スポーツ（ボッチャ）
10：30	防災指導
11：30	閉村式
11：45	解散



夕食説明の様子



朝食準備の様子



朝の集い（ラジオ体操）の様子

### 3 終わりに

1泊2日、学校や塾の先生ではない大人たちからの話を聞き、様々な指導を受け一緒に過ごすことができ、子供たちの柔軟性や協調性を育てることができました。そして、子供たちで考えながらテントを張り上げたことで、自分で考え解決する力を身につけることができ、それは自分自身の大きな財産となります。

閉村式で参加した子供たち一人ひとりに感想を聞いたところ、「楽しかった」という声が全員から返ってきました。小学校に友達と泊まるという普段できない貴重な体験を活かし、子供たちが地域の人の中で活躍できる若い力となってくれることを期待しています。

7年ぶりの防災キャンプ事業は本来の目的を達成できたと評価できます。今後、定期的な開催に向け、ほかの蒲田東地区委員会の青少年健全育成事業と並行して、次回の防災キャンプ事業に向けて早めの準備を進めて、内容の充実を図ってまいります。

#### ○推進モデル選定のポイント○

- 「地域防災力の向上」が昨今の地域課題であり、子供たちも防災に役立つ知識を身に付ける必要があるとの認識から、かつて行っていた「防災キャンプ」を再評価し、短期間の準備で安全かつ有意義なキャンプを開催できた。
- 地域の方の協力・連携の下、子供たちは防災知識の習得だけでなく、地域の大人や他校の生徒と顔の見える関係を築くことができ、地域の結束力のさらなる強化につながっている。
- 子供たちが、避難所となっている学校で食事や宿泊を共にする経験を通じて、協調性や柔軟性を身に付けることができる貴重な体験の場となっている。

担当部署 大田区地域力推進部蒲田東特別出張所

電話番号 03 (5713) 2001

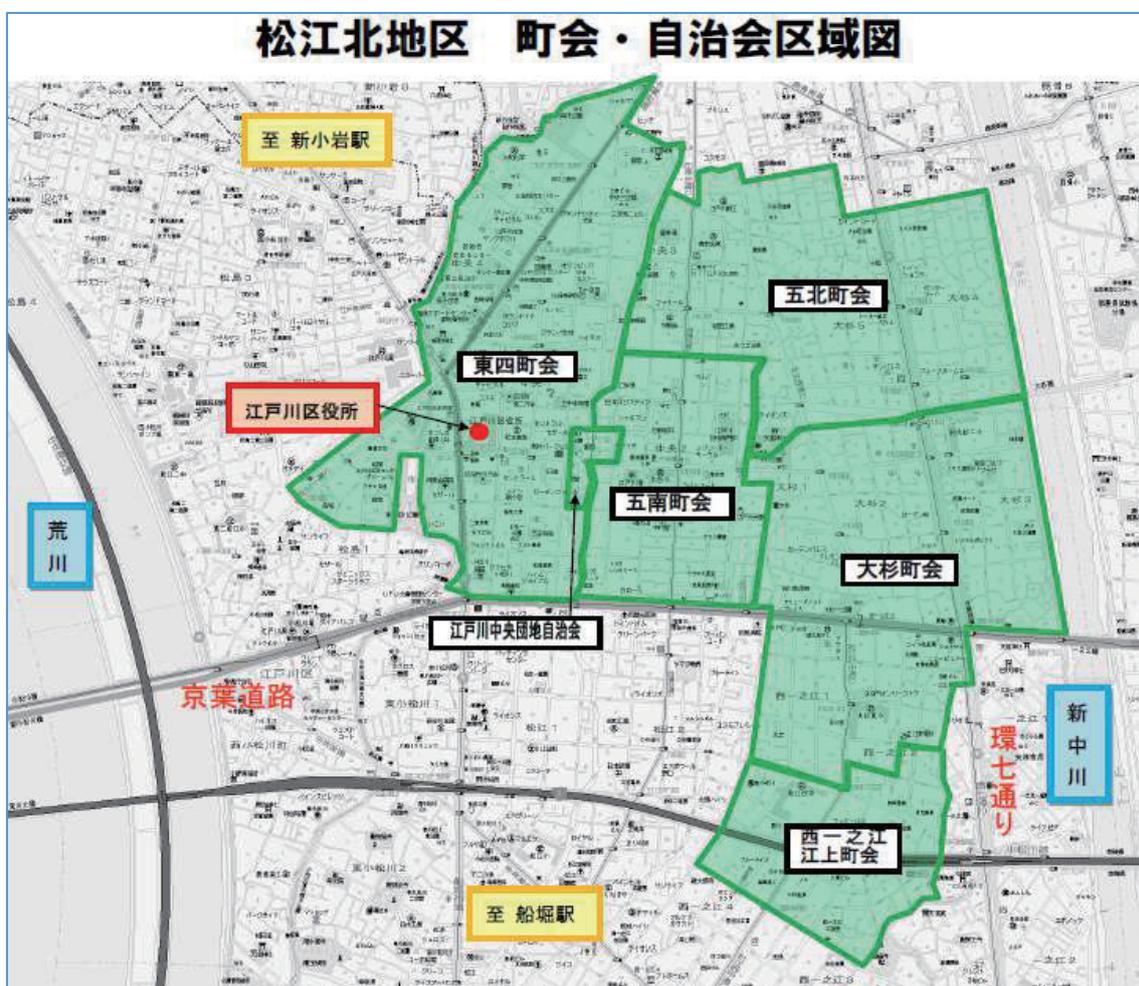
# 学校プレイパーク

## 1 江戸川区青少年育成松江北地区委員会について

江戸川区には17の地区委員会が設置されており、それぞれの地区委員会が関係諸団体と協力しながら、地域に根差した青少年育成活動に取り組んでいます。

松江北地区委員会の活動エリアは古くから江戸川区の行政と文化の中心地で、江戸川区役所本庁舎が所在するほか、総合文化センター、図書館、親水公園などの公共施設が集中しています。また、令和2年4月には東京23区で初となる区立の児童相談所が当エリア内に開設される予定です。

この松江北地区管内にある6つの町会・自治会から推薦された地区委員のうち、約40名が運営委員となって地区委員会の中心を担っています。毎月行われる運営委員会では、地区委員会活動の方向性の決定だけでなく、周辺地域の情報共有も行っており、地域一体となって青少年の健全育成活動に取り組む体制を整えています。



年間主要行事は、実践部門である少年部と青年部によって企画・運営されており、「学校プレイパーク」のほか、「ボウリング大会」、毎週開催している「卓球教室・バドミントン教室」などのスポーツイベントがあります。

また、当地区委員会は、「あいさつ・笑顔・地域の輪」をスローガンとして掲げ、親水公園を舞台とした地域まつりや区民運動会など、様々な地域の行事に対しても主体的に運営・協力し、参加者に地域活動の重要性を理解してもらえるように努力しています。

## 2 学校プレイパークについて

### (1) 目的

昭和の時代から、江戸川区は都心のベッドタウンとして発展してきましたが、その反面、子供たちが制限なく遊べる公園や広場が減少していきました。それに加えて、社会構造の変化に伴い、夫婦共働きの家庭は珍しいものではなくなるなど、青少年を取り巻く空間的・社会的な環境が急速に変化していきました。

そのような状況を前提に、この事業は、子供たちが生まれ育った地域の中で自由に遊べるような場所を設け、様々な体験ができる機会をつくることを目的として実施しています。仲間や大人と一緒に遊ぶ経験を通して社会性を養えるほか、自分たちで遊びを考えることで創意工夫をする力、ひいては生きる力を鍛えられるのではないかと考えています。



## (2) 活動の歩み

この事業が始まった当時、平成14年度から実施された「完全学校週五日制」を控え、青少年が家庭や地域社会の中で過ごす時間が増えるため、学校以外での豊富な体験ができるような場を提供する必要がありました。

そこで、子供たちがのびのびと遊べる広い敷地を持つ学校に着目し、江戸川区青少年委員会中央地区部会の協力のもと、「地域連携による青少年の体験活動事業」の一環としてスタートしました。学校に対する「勉強するところ」という一般的なイメージのみならず、「地域の原っぱ」として自由に遊べるイメージを持ってもらえるように、学校と家庭と地域社会が連携して青少年の居場所づくりに取り組んでいます。



## (3) 活動内容

子供たちに自由に安心して遊べる場所を提供することを目的とする事業ですが、各町会が工作体験コーナーを設けるなど、大人たちが遊びのメニューを提供する場合があります。

例えば、古くなったバドミントンの羽を使った人形作り、トイレットペーパーの芯を使った弓矢作り、輪ゴムで飛ばす紙飛行機作りなどの工作のほか、バドミントンやフラフープを使って体を動かす遊び等を体験することができます。工作に使う材料は、子供たちでも手に入れられる物を揃えて、家に帰っても同じものを作ることができるように配慮しています。

ほかにも、遊び疲れた子供たちのために、会場内で石焼き芋をつくって販売しており、毎回完売する人気コーナーとなっています。

実施場所	地区管内の江戸川区立小学校（大杉小、大杉第二小、第三松江小、大杉東小）各校1回ずつ
実施時期	毎年11月から2月にかけて計4回開催 各回とも午前9時から正午まで
参加者数	各回平均100名程度



工作で困っている下級生に対して、「こうしたほうがうまくいくよ」といったアドバイスをしてあげる上級生も多く見られ、学年を超えた交流ができていると感じます。子供たちからも、「また来たい」、「昼休みにつくってみる」など、好意的な感想を聞くことができました。

また、子供のころに「学校プレイパーク」に参加したことがあるという保護者の方が、自分の子供を連れて参加してくれたという話もあります。



#### (4) 課題

近年、少子化やゲーム機の普及等、様々な要因から参加者数が減少傾向にありました。

平成30年度からは、周知方法について部会で再検討し、チラシの配布だけでなく、周辺商店街が所有する掲示板にポスターを掲示させてもらうなど、参加者の呼び込みに力を入れています。

### 3 終わりに

「学校プレイパーク」は、学校・子ども会はもとより、町会・自治会や商店会など、多くの周辺地域団体との協力により、子供たちが安心して遊べる環境を提供しています。

ゲーム機・スマートフォンなど与えられた娯楽が増えた現代で、自発的に遊びを考えさせることによって、これからの人生を歩んでいくために必要な思考力・想像力・社会性を身につけ、将来地域を支える担い手に成長し活躍してくれることを期待しています。

#### ○推進モデル選定のポイント○

- 地域の子供たちの健全育成のため、学校、子ども会、町会・自治会や商店会など、多くの地域団体の協力の下、子供たちが安心して遊べる環境を提供している。
- 大人が与えるのではなく、子供たちが自分たちで創意工夫し、遊びを通じて想像力や思考力を身に付けることができる体験・経験の場となっている。
- 身近で手に入れられる物を工作の材料とするなど、日頃の生活が楽しい遊びにつながるような工夫をしている。

**担当部署** 江戸川区生活振興部区民課地域サービス係

**電話番号** 03(5662)6816

## 年度別 青少年健全育成地区委員会等推進モデル事例一覧

	事例名	場所	取組主体
平成13年度	Summer Store-School in 大久保	新宿区	新宿区立戸山中学校PTA
	「わんぱく天国」における「すみだ四季友遊会」の活動	墨田区	すみだ四季友遊会
	星の会（市民ボランティア）による子育て支援活動	世田谷区	星の会（市民ボランティア）
	父親を中心とした子どもの育成活動【親父の会】	世田谷区	世田谷区立小学校PTA 連合協議会
	ダンスイン・フェスタ舞祭組	杉並区	Dancin' Festa舞祭組 (杉並区善福寺周辺)
	合宿通学	荒川区	合宿通学実行委員会 (町会、商店街、青少対地区委員会)
	西伊興龍巳組（親子民舞会）	足立区	西伊興小、西新井中、伊興中、第十四中 ほか
	「夏休み40日学校開放」フュージョン長池	八王子市	NPOフュージョン長池
	小平市すこやかコミュニティ・プロジェクト	小平市	小平市すこやかコミュニティ
平成14年度	わんぱくベンチャー2002	新宿区	(社) 東京青年会議所新宿区委員会、 新宿区教育委員会
	わんぱく下町っ子祭り	台東区	台東区青少年対策地区委員会連合事業実行委員会
	思いやり ～子どもの光発見活動～	大田区	大田区立蒲田中学校区健全育成連絡会
	子どもに本の楽しさを伝える活動	北区	浮間図書館ブックボランティア、浮間図書館
	中学生・高校生のボランティア育成活動	練馬区	練馬区青少年育成第六地区委員会
	ふれあいフェスティバル 人とふれあい、地域の伝統・文化を知る	武蔵村山市	武蔵村山市第三中学校区教育推進協議会
	「やとっばら遊びの日」の活動	西東京市	明葉跡地で遊ぶ会
平成15年度	子ども支援グループ「でんでん」の活動	北区	子ども支援グループでんでん
	高島平地区小地域ネットワークの活動	板橋区	高島平地区小地域ネットワーク
	丸ごと全部子どもまつり	練馬区	練馬区青少年育成第一地区委員会
	朝のさわやかあいさつ運動	立川市	立川市青少年健全育成柴崎町地区委員会
	サタディコンサート	町田市	町田市青少年健全育成成瀬台地区委員会
平成16年度	下町台東の美しい心づくり清川地区連絡会の活動	台東区	下町台東の美しい心づくり清川地区連絡会
	第三いきいき活動	大田区	大田区立東調布第三小学校
	滝五でいしょ！パート2	北区	北区青少年昭和町地区委員会
	朝の校外清掃の活動	北区	北区立岩淵中学校
	心の東京革命元八王子推進会の活動	八王子市	心の東京革命元八王子推進会
	おうめ子ども情報局の活動	青梅市	おうめ子ども情報局運営協議会
	ななお『土曜のひろば』遊学会の活動	日野市	ななお『土曜のひろば』遊学会

	事例名	場所	取組主体
平成17年度	尾久地区「あいさつ運動」	荒川区	荒川区青少年対策尾久地区委員会
	原町会地域における「環境美化活動」	荒川区	荒川区立原中学校、原町会
	「むさしのジャンボリー」事業	武蔵野市	武蔵野市青少年問題協議会地区委員会
	青梅市親子ふれあい綱引き大会	青梅市	青梅市青少年対策地区委員長連絡協議会
	新入学児童自画像展	調布市	調布市健全育成推進若葉地区委員会
平成18年度	地域安全マップ作りを通じたあいさつ声かけ活動	新宿区	新宿区戸塚地区青少年育成委員会
	4校一斉あいさつ運動	目黒区	目黒区第十中学校区地域教育懇談会
	あいさつ声かけ運動防犯パトロール	杉並区	杉並区馬橋青少年育成委員会
	池袋本町プレーパーク	豊島区	池袋本町プレーパークの会
	きたちゃんを探そう —地域の中で子どもを育み子どもの体験を豊かにする—	北区	北区青少年赤羽地区委員会
	砂川地区あいあいパトロール隊	立川市	立川市砂川地区 「あいあいパトロール隊」実行委員会
	あいさつ運動と子ども見守り隊活動	調布市	調布市健全育成推進飛田給地区委員会
	本町第八第一町内会あいさつ運動	福生市	福生市本町第八第一町内会
	東愛宕地区見守り・声かけ運動	多摩市	多摩市青少年問題協議会東愛宕地区委員会
平成19年度	おせっかいおじさん・おばさん運動	荒川区	「あらかわの心」推進運動区民委員会
	あいさつ運動（あいさつ標語募集）	杉並区	杉並区高円寺中央青少年育成委員会
	四葉スキー教室	調布市	調布市健全育成推進若葉地区委員会
	地域ふれあい学習	西東京市	西東京市青少年健全育成「にしはら」
	立川市立第二中学校地区朝の挨拶運動	立川市	立川市青少年補導連絡会二中地区地域別委員会
平成20年度	知っている人を増やそう	新宿区	新宿区四谷地区青少年育成委員会
	台東区少年リーダー研修会	台東区	台東区青少年指導者育成者会
	集まれ！おうめっ子	青梅市	集まれ！おうめっ子実行委員会
	おはよう de はじめよう	三鷹市	三鷹市第三中学校区
	「愛の一声」運動	小平市	小平市青少対学園東小地区委員会
平成21年度	鶉の木地区「オ・ア・シ・ス運動」の取り組み ～あいさつで心が通う地域の輪～	大田区	鶉の木地区オ・ア・シ・ス運動推進協議会
	「阿佐谷地区」の学校との橋渡しと地域教育力向上活動	杉並区	杉並区阿佐谷青少年育成委員会
	子ども会によるあいさつ運動	荒川区	荒川区レインボー子ども会
	合い言葉は「あいさつのまち 徳丸！」	板橋区	板橋区青少年健全育成徳丸地区委員会
	あいさつは世界のあいことば	足立区	足立区青少年対策中川地区委員会
	ソフトボールを通じた健全育成推進の活動	調布市	調布市健全育成推進上ノ原地区委員会

	事例名	場所	取組主体
平成22年度	夢の島中学生体験プログラム	江東区	江東区青少年委員会
	～笑顔が育む子供の安全～	大田区	蒲田西地区 矢口子ども安全ボランティア「スマイルネット」
	朝日に向かってチャレンジ20km	調布市	調布小わんぱくおやじ倶楽部
	「地域のつながりの大切さ」 ～第二育成地域ふれあいひろばの取り組み～	狛江市	狛江市青少年第二育成委員会・ふれあいひろば実行委員会
平成23年度	東京ナイトウォーク	江東区	江東区青少年対策小松橋地区委員会
	「わが町板八小の運動会」 ～地域と学校が力を合わせて実現～	板橋区	板橋区町会連合会富士見支部
	戸塚地区安全・安心マップ「とまっぷ」の作成について ～戸塚地区を「子どもを育てやすい、安全・安心なまち」へ～	新宿区	戸塚地区協議会とまっぷ実行委員会
	地域で育てるジュニアリーダー	世田谷区	青少年松沢地区委員会
	第30回三町合同中学生スポーツ大会 「高尾山ナイトハイク」	立川市	三町合同中学生スポーツ大会実行委員会（曙町子ども会育成者連合会、栄町子ども会連合会、高松町子ども会連合会）
平成24年度	「地域レクリエーション」 ～牛込第一・牛込第三中学校生徒会による企画・運営～	新宿区	新宿区筆筈地区青少年育成委員会
	生徒の想い まつりを創る、文花中地域ふれあいまつり	墨田区	文花中地区青少年育成委員会
	親子で農業体験～じゃがいもクラブ・だいこんクラブ～	世田谷区	青少年上祖師谷地区委員会
	西砂川地域ふれあい松明祭り	立川市	立川市青少年健全育成西砂川地区委員会
	「三鷹中央学園の子どもたち」 ～おかあちゃんたちが創る、こどもたちの未来へのかけはし～	三鷹市	みたかスクール・コミュニティ・サポートネット
	子どもたちの食から地域のきずなまで、 農業・食育体験教室	青梅市	青梅食育クラブ
	こどもの家オリエンテーリング	調布市	調布市健全育成推進染地地区委員会
平成25年度	「目黒区青少年委員会の試み」 ～中高生による駄菓子屋と工作教室の運営～	目黒区	目黒区青少年委員会
	あいさつ運動	目黒区	目黒中央中学校区地域教育懇談会
	栄町・若葉町青少健プール	立川市	青少健栄町地区委員会、青少健若葉町地区委員会
	「共成小地区委員会」 ～子供と大人、大人と大人の橋渡し～	昭島市	青少年とともにあゆむ共成小地区委員会
	一年生下校時付き添い隊・見守り隊	清瀬市	清瀬市青少年問題協議会第四地区委員会
平成26年度	みなとキャンプ村	港区	港区青少年対策地区委員会
	一中学区青少年対策事業 (標語コンクール・意見発表会・巣立ちの会)	三鷹市	三鷹市青少年対策第四・第六・南浦地区委員会
	青梅っ子わいわいフェスタ	青梅市	青梅市青少年対策青梅地区委員会

	事例名	場所	取組主体
平成27年度	落一育成会スノーツアー ～子供に雪国の楽しさ厳しさを体験させる～	新宿区	新宿区落合第一地区青少年育成委員会
	菅刈キャンプ ～「次世代コミュニティリーダー育成」の実践～	目黒区	目黒区菅刈住区住民会議青少年事業部
	商店街探検・店員体験	町田市	町田市青少年健全育成原町田地区委員会
	田んぼ・畑活動	町田市	町田市青少年健全育成小山田地区委員会
平成28年度	練馬区子どもフェスティバル	練馬区	練馬区青少年育成第四地区委員会
	いけばな子ども教室	調布市	調布市健全育成推進若葉地区委員会
	八ヶ岳キャンプ	多摩市	多摩市落合地区委員会
平成29年度	深小キャンプ	調布市	調布市健全育成推進深大寺地区委員会
	復興支援 フリーマーケットとおもちつき	小平市	小平市青少年対策二小地区委員会
	横山地区青少年育成ロードレース大会	八王子市	八王子市青少年対策横山地区委員会
	羽村市青少年健全育成の日事業（子どもフェスティバル）	羽村市	羽村市青少年対策地区委員会連絡協議会
平成30年度	中学生対象事業	品川区	品川区青少年対策荏原第三地区委員会
	ふれあいニューイヤーマラソン大会	江戸川区	江戸川区青少年育成葛西第二地区委員会
	小学校卒業記念ナイトウォーク	江戸川区	江戸川区青少年育成小松川平井地区委員会
	もちつき会	あきる野市	あきる野市青少年健全育成五日市地区委員会
令和元年度	牛込第二中学校との連携事業	新宿区	新宿区早稲田地区青少年育成委員会
	農業体験学習（田植え・稲刈り）	大田区	大田区青少年対策新井宿地区委員会
	防災キャンプ	大田区	大田区青少年対策蒲田東地区委員会
	学校プレイパーク	江戸川区	江戸川区青少年育成松江北地区委員会



## 令和元年度 青少年健全育成地区委員会等 推進モデル事例集

登録番号 (31) 38

令和元年11月発行

編集・発行 東京都生活文化局都民生活部地域活動推進課  
〒163-8001  
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03 (5388) 3098

印刷 シンソー印刷株式会社  
〒161-0032  
東京都新宿区中落合一丁目6番8号  
電話 03 (3950) 7221



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。